

2020年8月4日

各位

お問い合わせ先
ベインキャピタル
広報担当: 久世
090-5432-6755

ベインキャピタル、hey およびクービックへのグロース投資実施を合意

Bain Capital Private Equity, LP (そのグループを含み、以下「ベインキャピタル」)は、「STORES (ストアーズ)デジタルストアプラットフォーム」を開発・運営するヘイ株式会社 (以下、「hey」) のシリーズ E 調達をリードしたことをお知らせいたします。本シリーズ E 調達には PayPal Ventures、Goldman Sachs、YJ キャピタル、Anatole、および既存株主である WiL などが参加しています。本シリーズ E 調達にベインキャピタルのソフトウェア・決済領域におけるグローバルな知見を加えることで、お店のキャッシュレス化、E コマース対応など、お商売のデジタル化を進めようとしている hey の成長を更に加速させることを目指します。

本シリーズ E 調達と同時に、hey はオンライン予約システム「Coubic (クービック)」を開発・運営するクービック株式会社 (以下、「クービック」) の全株式を取得し、グループ化することになりました。クービックは STORES ブランドとして統合され、サービス事業者のみなさまが簡単かつ安価に自社予約サイトを構築し、オンラインレッスン予約などにも即座に対応できるようになります。両案件の取得金額は公表しておりません。

モバイル POS 端末のパイオニアであるコイニー社と、オンラインストア開設サービスの先駆けとなったストアーズ・ドット・ジェーピー社の経営統合により 2018 年に設立された hey は、サービス事業者の皆様が簡単に使えるキャッシュレス決済サービスと、自由に個性を発揮できるオンラインストア開設・運営サービスを提供しています。STORES デジタルストアプラットフォームは、サービス事業者の皆様が提供する顧客体験価値を高める上で重要な役割を担っています。

ベインキャピタルの Darren Abrahamson は、「佐藤社長をはじめとする経営陣の皆様は、キャッシュレス決済とオンラインストア開設の両事業で最先端に立って、日本のサービス事業者のデジタル化を支援してきました。今回のクービックとの統合により、より効率的で使いやすい“ワン・ストップ・ショップ”を作り出し、hey の次の成長ステージをご一緒させて頂けることを光栄に思っています」と述べています。

hey の佐藤祐介社長は、「hey は、個人や小さなチームによる”楽しみ”のための経済がこれからの社会をリードしていくというビジョンとともに設立されました。ベインキャピタルをはじめとするグローバルプラットフォームの知見を活用して、ニューノーマルに対応した個人・中小事業者向け機能の展開をより加速していきます」と述べています。

ベインキャピタルは、決済・E コマース領域において、Concardis、Finix、Mirakl、Nets、Nexi、WorldPay (FIS と経営統合)といった様々な地域・成長ステージの企業に投資・支援を行って参りました。日本においても 2006 年の東京オフィス開設以来、エンバーポイント、キオクシア、マクロミル、Works Human Intelligence といったテクノロジー企業への投資を行って参りました。本シリーズ E 調達後に、東京オフィスの西直史が hey の取締役役に就任する予定です。今後も本件のような成長ステージのスタートアップ企業へのグロース投資を拡大して参ります。

ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、経営のパートナーとして事業のバリューアップ支援に注力する世界最大級の投資会社であり、総額750 億ドル以上に上る数種類のファンドを運用しております。1984年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で300 社以上のプライベートエクイティ投資や追加的投資を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ約400名の専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に拠点を有しています。

<http://www.baincapital.co.jp/result/field/>